

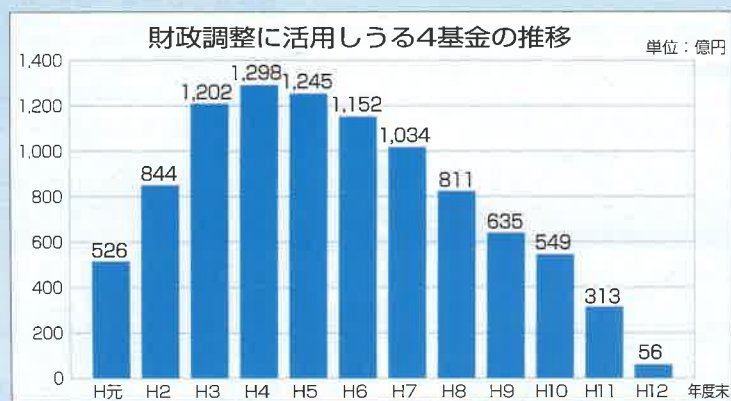
財政健全化計画の概要

県では、極めて厳しい財政状況を乗り切り財政の健全化を図るため、具体的な方策などを掲げた「熊本県財政健全化計画」を平成13年2月に策定しました。

県財政の健全化は、最終的には「県民の福祉の確保」につながるものであり、「21世紀の熊本の礎を築く」という固い決意で、この健全化を成し遂げていきたいと考えています。

1 県財政の現状

4つの基金の残高(県の貯金)



※平成12年度の数値は、平成12年度本予算ベースでの年度末残高見込額です。

県債の残高(県の借金)



※平成12年度の数値は、12月補正までの県債発行を加味した見込額です。

2 計画期間

平成13年度から平成17年度までです。

(このうち、緊急集中取組期間は、平成13年度から平成15年度までです。)

3 財政健全化の基本方針

- 平成17年度までに財源不足を解消します。
- 県債残高が増えない財政体質をつくります。
- 県民に対する説明責任を積極的に果たしていきます。 など

4 歳入・歳出における量的目標など

歳入確保の目標額……約110億円

【具体的方策】

- 県税収入の確保
- 県有財産の売り払い促進
- 使用料や手数料の見直し など

※歳入確保と歳出削減の目標額は、平成13年度から平成15年度までの3年間の累計額です。

歳出削減の目標額 ………………約1,314億円

【具体的方策】

- 人件費 ………………75億円
 - ◎職員数 知事部局で200人削減
 - ◎職員給与費 一般職支給額の2%削減 など
- 物件費(旅費や物品を購入する費用などの一般的な事務経費です。) ……94億円
 - ◎一般事務経費 平成12年度の30%削減 など
- 補助費など(各種補助金や負担金などです。) ………………76億円
- 投資的経費(公共事業や施設整備などです。) ………………945億円
 - ◎国の補助公共事業 平成12年度のおおむね10%削減
 - ◎県独自の公共事業 [年度別削減目標:対前年比]

年度	H13	H14	H15
削減率	▲20%	▲10%	▲10%

- 公債費(県債の返済金) ………………96億円
- その他の経費(維持補修費など) ………………28億円

5 中期財政見通し(平成13年2月現在)

単位: 億円

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
歳出(A)	8,078	8,053	8,061	8,171	8,244
歳入(B)	7,944	7,948	7,971	8,126	8,237
要調整額(A)-(B)	134	105	90	45	7

試算の前提

歳出: 過去の決算の推移および今後の財政需要などを考慮して推計しました。

歳入: 国の「財政の中期展望(平成13年2月)」の経済成長率(2%)などを考慮して推計しました。

6 今後の財政運営など

これまでに掲げた取り組みなどを踏まえて試算した「中期財政見通し」によれば、平成17年度にはおおむね財源不足の解消が見込まれており、その意味では、財政健全化のスタートラインに立つことができたと言えます。

しかしながら、平成14年度以降、多額の財源不足額が見込まれることや、わが国の経済状況や地方財政制度の動向を踏まえると、財源不足の先行きは予断を許さないものがあります。

今後、毎年度の当初予算案とあわせて、社会経済情勢の変化などを考慮し、「中期財政見通し」の修正を行うとともに、県財政について情報を公開するなど、広く県民の皆さんに対して説明を行ってまいります。

この「財政健全化計画」は、県のホームページや県庁の情報プラザで見ることができます。

ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp>

■お問い合わせ先/熊本県財政課 財政健全化対策室 ☎096-383-1111(内線3287) FAX096-382-7815